慈悲行実践道場

[慈悲行実践道場の理念 1](#_Toc447122762)

[主要活動 3](#_Toc447122763)

[設立者 3](#_Toc447122764)

[定款 5](#_Toc447122765)

[入会 5](#_Toc447122766)

[事務局 5](#_Toc447122767)

### 慈悲行実践道場の理念と目的

慈悲行実践道場は、仏教思想による慈悲精神を求め、菩薩行を

実践しようとする人の集まりです。

当法人の理念と目的は、仏教思想による慈悲精神を求め、以下に

掲げる仏教思想の教えに基づき、今日の社会問題の１つである単身高齢者世帯をはじめとする、支援が必要とされる人々を対象とし、生活支援・自立支援活動を展開することによって、慈悲行・菩薩行を実践し、微力ながら当法人の活動を通じ、より多くの人々を常に自主的に利他的行動を取るように導くことである。

慈悲は仏教の核心思想の一つです。

慈とは人に利益や安楽を与え、悲とは衆生から不利益と苦痛を除去することを意味します。

慈悲をより具体的に拡大したのは、慈悲喜捨という四無量心です。それは、悟りを追い求め続ける菩薩が、育成しなければならない心です。

菩薩のシンボルの一つとして、**菩薩三聚戒を受持することです。**

**三聚戒の一つは**[摂衆生戒](https://kotobank.jp/word/%E6%91%82%E8%A1%86%E7%94%9F%E6%88%92-79321)であり、一切の衆生を愛護し，利益を与えようとしなけばならないのです。

また仏教では、人の人たる道は恩を知り、恩に報いるべきという知恩・報恩の考えもあります。

『正法念処経』には、母の恩・父の恩・如来の恩・説法法師の恩の四恩が説かれ、『大乘本生心地觀經』では、父母の恩・衆生（社会）の恩・国王（国家）の恩・三宝（仏・法・僧）の恩の四恩を説いています。

弘法大師は、「恵眼をもって観ずれば、一切衆生は皆これ、わが親なり」と説き、道元禅師は「一切衆生斉しく父母の、恩のごとく深しと思うて、作す所の善根を、法界にめぐらす。」と仰せられました。  
　我々は、人の世話をしてあげることなど、利他的行為を通じて、この重い四恩に返報しようとしております。

以上のような行為は、他人に利益を与えるだけではなく、実は自分自身にも大きな利益をもたらします。

仏教では、八福田という考えが教えられ、田に稲を植えると稲が実るように、仏・聖人・和尚（おしよう）・阿闍梨（あじやり）・僧・父・母・病人といった八つの対象に対し、尊敬・供養または施しをすれば福徳を生ずることが説かれています。

慈悲行实践道场は、以上のようなブッダの教えを信じ、慈悲行を実践しようとしています。少子高齢化が深刻化していく中、人々の老後生活を支えるには、社会保障制度などの公的支援のほかに市民の自主的な支援活動が大いに必要とされています。松戸市のHPには「高齢者だけの夫婦世帯や単身世帯も増えてまいりますので、医療・介護に加え、日常の生活支援などの施策も求められております。」という福祉長寿部長渡辺忠氏のメッセージが掲載されています。

この現状を鑑みて当道場は、単身高齢者などの世帯への生活支援・自立支援を具体的な慈悲行として、活動を始めようと計画しております。

微力ながら、私達の活動を通じ、より多くの人々を常に自主的に利他的行動を取るように導くことができれば、幸甚です。

### 主要活動

1. 行政のアドバイスを頂いた上で、慈悲行実践道場のメンバー自身とボランティアは、支援が必要とされる高齢者や障害者に、需要者のニーズに合う支援活動を行います。
2. 高齢化社会における仏教の慈悲精神の役割に関する研究および、その研究成果を社会へ発信します。

### 設立者

何立新、**廖志萍**

**設立時代表理事　何立新**

**代表理事のプロファイル**

He Lixin （何立新）　　1966年10月四川生まれ

**学歴**

1984-1988年　　四川大学日本語学部

1998-2000年　　一橋大学大学院経済学研究課修士課程

2000-2006年　　同上　博士課程　経済学博士号取得

2015年9月－現在　　　東京大学大学院人文社会系研究科課仏教学専攻　研究生

**職歴**

大卒後、ブラウン管製造会社・貿易会社・ファイナンスリース会社などを経て、1996年11月に来日。博士号取得後、日本学術振興会外国人特別研究員（2006-2008年）を経て帰国、中国復旦大学経済学院に着任、2015年8月31日付けで自主辞職。

**主な研究業績**

**著書**

『中国の公的年金制度改革--体制移行期の制度的･実証的分析』　東京大学出版会　2008年10月

**主な査読つき論文**

何立新　「年金改革前の中国都市部における公的年金制度の適用対象と給付水準－1995年都市部家計調査データに基く考察－」,『海外社会保障研究』2004年No.146: 54-72.

何立新　「中国都市部における公的年金制度改革と所得移転

　　　　-2002年中国都市部家計調査に基づいて実証分析」-

　　　『アジア経済』　2006年8月 第47巻第8号

He Lixin and Hiroshi Sato, “Income Redistribution in Urban China by Social Security System：- An Empirical Analysis Based on Annual and Lifetime Income –.”

*Contemporary Economic Policy,* Vol. 31, No. 2, April 2013.

何立新　「中国城鎮養老保険制度改革の所得分配効果」『経済研究』（中国社会科学院）2007年第3期.(中国語）

### 定款

### 入会

当法人の理念を理解し、目的を賛同する方は誰でも入会できます。

ただし、

常時社員になるには、毎月本人所得の三分の二を当法人の基金として拠出する義務を負います。

普通社員になるには、毎月本人所得の三分の一を当法人の基金として拠出する義務を負います。

### 事務局

慈悲行実践道場は、事務局を下記の通り設置しています。

* 〒271-0068　千葉県松戸市古ケ崎219－1
  + 最寄り駅はJR 常磐線の松戸駅
* 電話番号：047-712-0008
* ファクス：047-712-0008
* 担当者：何立新(ホー・リシン)